

整理番号 S2005

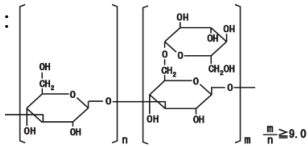
1. 製品名及び会社情報

製品名 : SBGP-05 (β-グルカンパウダー)
 会社名 : 株式会社ソフィ
 住所 : 高知県吾川郡仁淀川町田村248
 担当部署 : 品質管理部
 電話番号 : 0889-35-1671
 F A X 番号 : 0889-35-1676

2. 危険有害性の要約

有害性 : 有害性についての情報はない
 環境影響 : データなし
 物理的及び化学的危険性 : データなし
 GHS分類 : 分類されない

3. 組成及び成分情報

化学名 : β-D-グルコピラノシル-(1→6)-側鎖を含有するβ-1,3-グルカンを主成分とするアウレオバシジウム培養物
 成分及び含有率 : β-1,3-1,6-グルカン5%以上
 化学式又は構造式 : 
 官報公示整理番号 : 11-(4)-814(安衛法)
 CAS No. : 53238-80-5
 国連分類および国連番号 : 該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 : 何か症状があれば医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 水で洗い流す。何か症状があれば、医師の診断を受ける。
 目に入った場合 : 直ちに水で洗い流す。何か症状があれば医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合 : 何か症状があれば医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : 通常の方法による。
 消火剤 : 通常の方法(水、炭酸ガス、泡、粉末など)。

6. 漏出時の措置

掃き集めて回収。こぼした場所は水で洗い流す。但し、排水のBOD値を高める。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い 注意事項 : 袋を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
 漏れ、飛散等しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
 開封後は速やかに使用する。
 安全取扱い注意事項 : 吸い込んだり、目に入らないように、必要に応じて、適切な保護具を着用する。
 保管 適切な保管条件 : 25℃以下の冷暗所に置く。

8. 暴露防止措置

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。
 管理濃度 : 知見なし
 許容濃度 : 日本産業衛生学会(年度版) : 知見なし
 ACGIH(年度版) : 知見なし
 保護具 呼吸器の保護具 : 必要に応じて、防塵マスクを着用する。
 手の保護具 : 必要に応じて、保護手袋を着用する。
 目の保護具 : 必要に応じて、保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状	: 粉末
色	: 白色～うすい黄白色
臭い	: わずかに特有の匂い
pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点、初留点および沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲(上限・下限)	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重(相対密度)	: データなし
溶解度	: 水に溶ける
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
その他のデータ	: 吸湿性がある。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 湿気、直射日光、熱
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷及び刺激性	: データなし
感作性(呼吸器または皮膚)	: データなし
亜急性毒性	: マウスを用いた強制経口投与(8.5 g/kg)による28日間反復投与試験において、検体投与に起因する毒性学的影響は認められていない。
慢性毒性	: データなし
発がん性	: データなし
変異原性	: データなし
生殖毒性	: データなし
催奇形成	: データなし
その他	: データなし (水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)

12. 環境影響情報

生態毒性	魚毒性	: データなし
	残留性/分解性	: データなし
	生体蓄積性	: データなし

13. 廃棄上の注意

焼却法で処理する。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
注意事項	: 容器の密閉、積み荷の転倒防止、運搬時における直射日光に注意する。

記載内容の取り扱い

本データシートは一般的な取扱いを主に記載しており、大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在における最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加または訂正されることがあります。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。